



2024年5月10日

各 位

会社名 三 信 電 気 株 式 会 社
代表者名 代表取締役 社長執行役員（COO） 鈴木 俊郎
（コード番号：8150 東証プライム市場）
問合せ先 取 締 役 執行役員経本部長 村上 淳一
（TEL 03-3453-5111）

長期的な企業ビジョンとV76中期経営計画に関するお知らせ

当社は、長期的な企業ビジョンと当社第76期（2027年3月期）を最終年度とするV76中期経営計画につきまして、別紙の通り決定いたしましたので、お知らせいたします。

以上

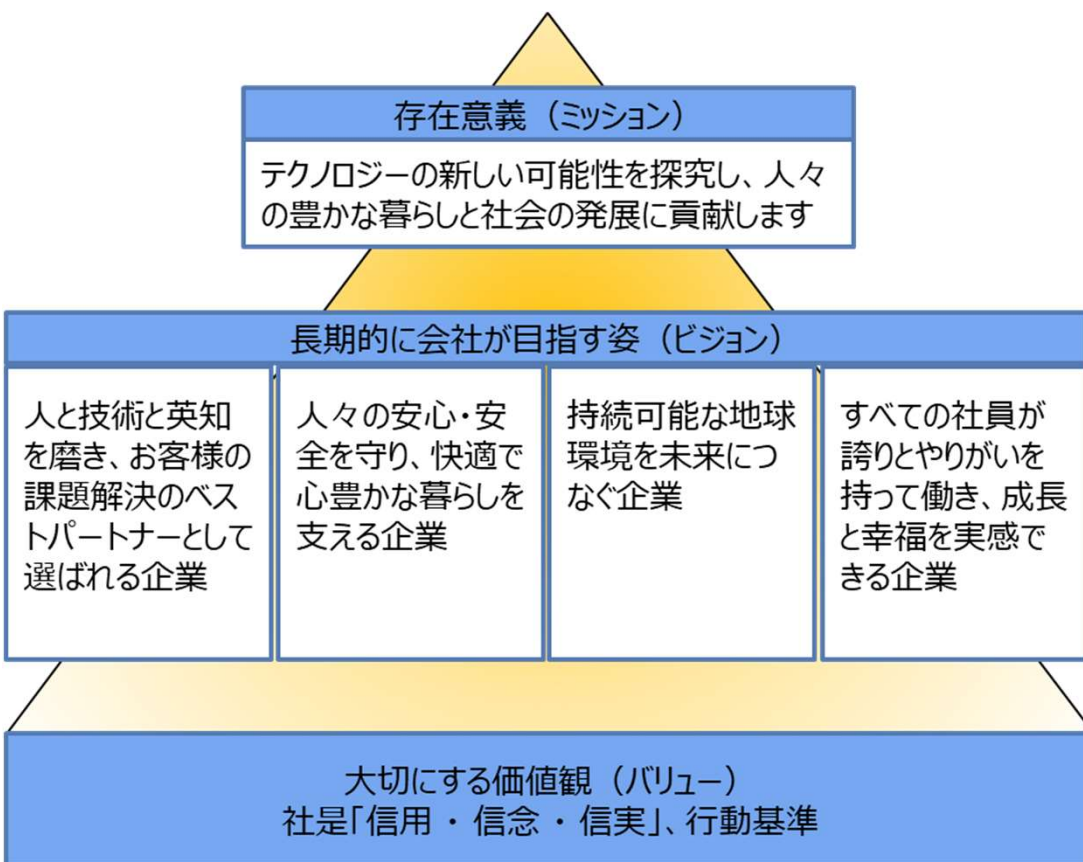
長期的な企業ビジョンとV76中期経営計画 (2025年3月期~2027年3月期) に関する説明資料

2024年5月10日

三信電気株式会社

代表取締役 社長執行役員 (COO) 鈴木俊郎

長期的な企業ビジョンについて



当社グループは、幅広いステークホルダーと相互理解を深め、共に発展していくことが持続的な企業価値の向上に繋がると考えております。当社グループでは新たに長期的な企業ビジョンを定め、その実現に向けた重要課題を設定しました。これらの課題に真摯に取り組んでまいります。

【重要課題】

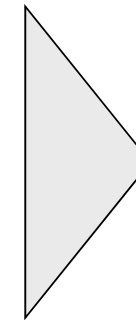
1. 事業の持続的成長と資本効率の向上を実現するための課題
 - (1) 長期的な事業構造の最適化に向けたリソースシフト、組織・制度の整備
 - (2) 既存事業における間接業務の効率化、SFA活用による売上、収益拡大
 - (3) デジタル技術を活用したソリューションによる成長事業の開拓
 - (4) 資本効率の継続的な改善
2. サステナビリティに関する課題
 - (1) 人的資本経営の推進
 - (2) サプライチェーンにおける環境マネジメントの推進
 - (3) 事業を通じた社会課題解決への寄与
 - (4) 経営会議体の実効性向上を通じた監督機能の強化

V76中期経営計画（V76）について

【V76期間】 2025年3月期～2027年3月期の3ヶ年

【V76定量目標】 安定してROE 8%以上を実現する事業構造の構築

V76最終年度 定量目標 (2027年3月期)	経常利益	当期純利益
	50億円以上	35億円以上



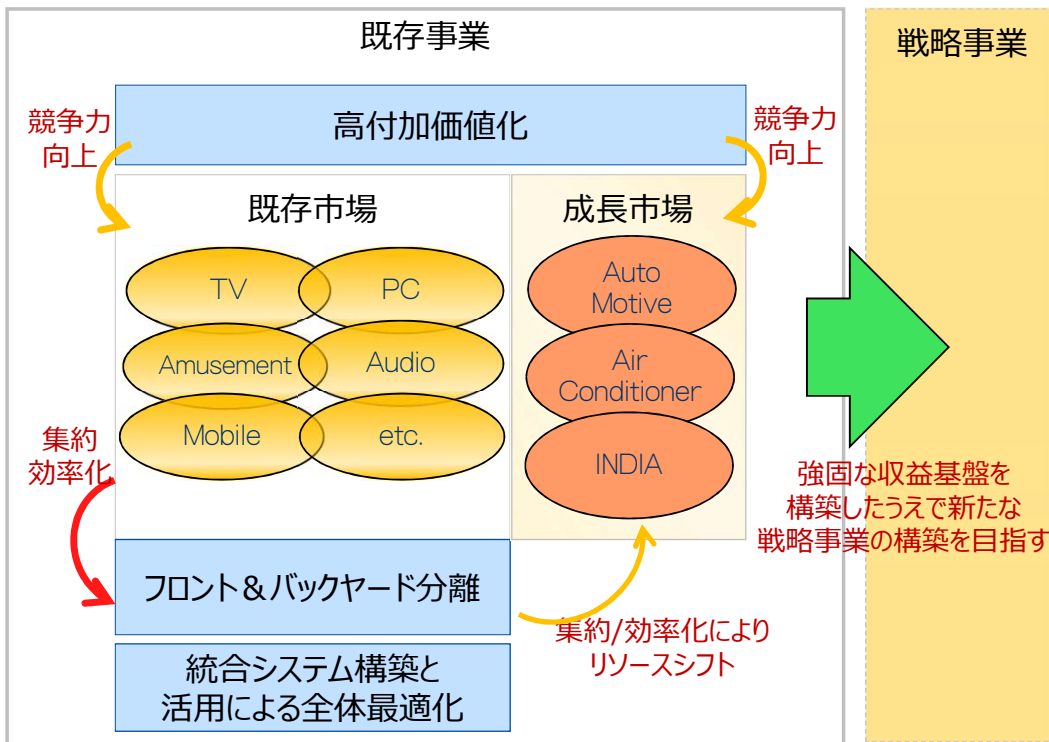
下記取り組みを通じて
PBR1倍超を目指す

- 株主資本コストを8%と想定
- 事業の収益性、安定性、成長性に同業他社比課題があり、安定的にROE 8%を上回るための収益基盤および財務基盤の整備が必要
- ROE向上と併せて株主資本コストを低減することでエクイティスプレッドを拡大

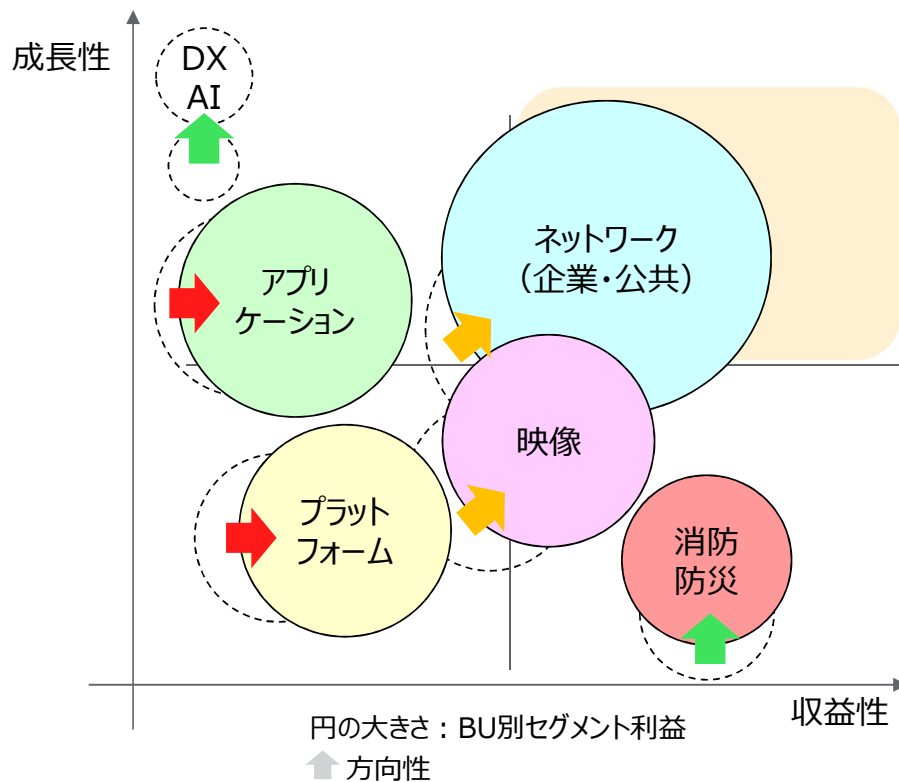
事業の持続的成長と資本効率の向上を実現するための取り組み
1. 収益性、安定性、成長性向上に資する事業戦略 2. 財務戦略 (1) 効率性と安全性を両立した資本構成の最適化 (2) 収益性改善とキャッシュ創出に向けた資産効率の向上 (3) 資本収益性に基づく適切なリソースの配分 3. 株主還元政策 連結配当性向50%を目処とした配当の継続



サステナビリティに関する取り組み
1. 人的資本経営の推進 (1) 多様な人材の活躍推進に向けた意識・行動改革と制度整備 (2) 戦略的能力獲得に向けて人材の採用、教育への積極的投資 (3) DX推進による労働生産性の向上と創造的活動の拡大 2. 環境マネジメントの推進 TCFD提言に沿った開示の充実とGHG排出量の削減 3. 監査等委員会、指名報酬委員会を通じた監督機能の強化



- 収益性向上に向けた取り組み
 - ・組織・制度の整備、間接業務の効率化（SFA活用等）
- 安定性向上に向けた取り組み
 - ・成長市場（分野では車載、エアコン、地域ではインド）への拡販強化に向けたリソースシフト
 - ・技術力や当社独自性を通じた高付加価値化による競争力の向上
- 成長性向上に向けた取り組み
 - ・持続的な成長力創出に向けた戦略事業の構築



■ 収益性向上に向けた取り組み (アプリケーション)

- ・スクラッチ開発からパッケージ、サービスへ転換
- ・情報データ利用による生産性向上 (プラットフォーム)
- ・SI・運用保守などの付加価値提供

■ 安定性向上に向けた取り組み (ネットワーク)

- ・企業/公共顧客内ネットワークインフラビジネスの維持
- ・セキュリティ分野等の技術進化への対応継続

(映像)

- ・放送形態の変化、映像利用シーンの拡大ニーズの囲い込み

■ 成長性向上に向けた取り組み

- ・防災意識の高まりを背景に消防防災BUのエリア拡大
- ・ベンチャー企業連携による新規ビジネス創造 (DX、AI)